



かかみがはら

## 市議会だより

発行  
各務原市議会岐阜県各務原市那加桜町1-69  
電話058-383-2001編集  
市議会だより編集委員会

親子三世代の渡り初め（3月24日・各務原大橋）

## 3月定例会

|             |   |
|-------------|---|
| 主な議案        | 2 |
| 委員会審査       |   |
| 総務、民生消防     | 4 |
| 経済教育、建設水道   | 5 |
| 議長・副議長など決まる | 6 |
| 審議結果        | 7 |

## 市政を問う 会派の代表質問

|                 |   |
|-----------------|---|
| 平成25年度の予算編成は    | 8 |
| 法人税割を標準税率に戻す考えは | 8 |

## 市政を問う 一般質問

|                 |    |
|-----------------|----|
| 日本一の市役所         | 9  |
| 冷暖房設備を小中学校の全教室へ | 10 |
| ばあばの家、じいじの家     | 11 |

|           |    |
|-----------|----|
| 市民の声、議会素描 | 12 |
|-----------|----|

## 市制施行50周年 ささえ合いを大切にする都市へ

## 平成25年度一般会計予算

## 395億9000万円を可決

平成25年第1回定例会(3月定例会)を3月6日から3月28日の23日間の会期で開催しました。

市長から提出された議案は、平成25年度一般会計予算をはじめとする48案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

第1回定例会に市長から提出された議案は、

・平成25年度予算 6件

・平成24年度予算の補正 3件

・条例の制定・改正 27件

・工事請負契約の締結 1件

・資本剰余金の処分 1件

・市道路線の認定・廃止 5件

・人事の案件 5件

の合計48案件です。

## 平成25年度一般会計予算編成方針

平成25年度当初予算は、各務原市誕生から半世紀という節目を契機と



市制施行50周年の横断幕

して、「ささえ合いを大切に」する都市の実現を目指し、3つの柱を掲げて編成しています。

第1は、「市制施行50周年記念事業」で、人と人、家族、地域のつながりを促す施策を推進します。

第2は、「各務原ブランド推進事業」で、郷土愛を育むとともに、都市

の魅力を発信し、新たな人々を呼び込む施策を展開します。

第3は、「しなやかで強い財政力」を堅持し、健全な財政を次世代にしっかりとつないでいきます。

一般会計予算の総額は、395億9000万円です、前年度の当初予算に比べ8.6%減となっています。

しかし、国の緊急経済対策などに対応し、過去最大の総額26億500万円の事業を平成24年度に前倒しており、大型プロジェクトの各務原大橋建設事業を除くと実質的には前年度に比べ、増額の予算となっています。

## 平成25年度の主な新規事業

## ●「家庭の日」公共施設無料開放事業

家族が一緒に過ごす楽しい団らんの時を提供するため、18歳以下の子どもがいる家庭を対象に、毎月第3日曜日に航空宇宙科学博物館などの4施設を無料開放する。

## ●住宅リフォーム補助事業

家族が過ごす憩いの場の環境充実のため、住宅リフォームの費用の一部を最大10万円補助する。

## ●鵜沼宿町屋館企画展事業

昭和38年市制施行当時の電化製品や家具、雑貨などを展示し、50年前のお茶の間を鵜沼宿町屋館で再現する。



鵜沼宿町屋館

## ●各務原フィルムコミッション事業

本市の魅力を市内外にPRするため、ドラマなどの撮影の誘致をする。

## ●男依歌舞伎創作事業

壬申の乱で最大の功績を上げた美濃国各務郡の豪族村国男依を題材とした歌舞伎を創作し上演する。



男依歌舞伎に登場する古須売

## ●こども医療費助成事業

子育てをしやすい環境づくりのため、こども医療費の無料化を中学生の通院分まで拡大する。

## ●夢ある都市推進事業

市民、地域、民間団体などが自ら企画・運営する、人と人、地域のつながりを促すプロジェクトに対し、10万円を限度として助成する。



## その他の議案

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

一般廃棄物処理計画に従い、ごみステーションに出された家庭ごみのうち、資源として利用することができものの所有権が市に帰属することを定めるものです。

## 工事請負契約の締結

川島小学校校舎耐震補強等改修工事（建築）を一般競争入札により2億3551万5千円で足立・サトウ特定建設工事共同企業体と締結するものです。



耐震補強工事を行う川島小学校

## 平成25年度一般会計予算の内訳

| 歳入    | 増減率              |
|-------|------------------|
| 市税    | 194億6019万円 1.6%  |
| 地方譲与税 | 5億円 4.2%         |
| 地方交付税 | 28億円 △14.6%      |
| 国庫支出金 | 48億1068万円 △22.9% |
| 県支出金  | 27億931万円 △2.3%   |
| 繰入金   | 19億円 △25.5%      |
| 市債※   | 22億円 △5.2%       |
| その他   | 52億982万円 2.0%    |
| 合計    | 395億9000万円 △8.6% |

## 副市長の選任

副市長松岡秀人氏の任期が3月31日に満了することに伴い、その後任に元都市戦略部長の磯谷均氏を選任するものです。



副市長 磯谷均氏

## 監査委員の選任

監査委員野田敏雄氏の任期が3月31日に満了することに伴い、その後任に磯野孝博氏を選任するものです。

| 歳出      | 増減率              |
|---------|------------------|
| 人件費     | 75億1824万円 △4.0%  |
| うち職員給   | 53億2387万円 △4.0%  |
| 扶助費     | 90億1275万円 2.7%   |
| 公債費     | 45億8737万円 6.5%   |
| 繰出金     | 47億2987万円 1.2%   |
| 普通建設事業費 | 34億3856万円 △55.4% |
| その他     | 103億321万円 2.8%   |
| 合計      | 395億9000万円 △8.6% |

※市債は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債のみの発行を予定しています。

## 国の緊急経済対策に対応した主な事業

国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に伴う国の補正予算の成立を受け、市でも、平成25年度以降に予定していた事業を、24年度に前倒して実施するものです。

## ●学校校舎耐震化事業

さらなる安全・安心な学校環境を確保するために小中学校13校分の耐震補強工事を行う。

## ●小中学校冷暖房設備整備事業

未来を担う子どもたちの学習環境の充実のため、平成28年度までに市内全小中学校の全教室に冷暖房設備を整備する。

## ●各務野ヒストリー探検事業

2億5千年前の地層から近代文化遺産までの市内の資源を幅広く取り上げたマップを作成し、掲載したコースを回る「各務野ヒストリー探検ツアー」を開催する。

## ●高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業

安心な老後を支えるため、70歳以上の高齢者のワクチン接種費用の半額を助成する。

## ●本庁舎耐震診断及び耐震改修基礎調査事業

本庁舎耐震診断及び耐震補強案など、庁舎将来計画の基礎資料を作成する。

## ●各務原の美しい水事業

おいしい水道水をPRするためにペットボトル化し、イベントなどで配布する。

## ●木曾川「夢と浪漫」まちづくり事業

交流人口の拡大と来訪者の増加を図るため、木曾川遊歩道と大安寺川遊歩道の整備に向けた詳細設計や各務野歴史街道と大安寺川沿いへの案内標識の設置などを行う。

## ●勤労青少年運動場整備事業

勤労青少年運動場にある野球場、ソフトボール場、陸上競技場、サッカー場などを総合運動場と



勤労青少年運動場の完成予定図

## 委員会審査



## 総務常任委員会

## 工事請負契約の締結(川島小学校校舎耐震補強等改修工事(建築))

▼質疑 川島小学校校舎の耐震補強工事の入札参加者数と予定価格、落札率は。

▼答 入札参加者は6共同企業体で、予定価格は2億5602万2550円、落札率は91・99%である。

## 平成25年度一般会計予算(所管分)

▼質疑 P Rラジオ特別番組の内容は。

▼答 岐阜FMで、市の行政情報やイベント情報のほか、商工会議所や民間事業者と連携し、飲食店や市内の商店、映画情

今期定例会で4つの常任委員会に審査の付託をした案件について、3月21日から4日間、常任委員会を開催し、審査を行いました。各常任委員会での主な質疑内容は次のとおりです。

報などを紹介する。

▼質疑 各務原フィルムコミッション事業とは。

▼答 本市を題材に、市民が一緒になって参加できるようなドラマ作成にしていきたい。



ドラマ「恋するキムチ」のロケ地(那加雲雀町)

▼質疑 屋外災害情報スピーカーは、どのような場所に新設するのか。

▼答 現在206カ所に設置しているが、スピーカーの方向を変えても放

送内容が聞こえない場合や、大規模な住宅地が新たに造成された場合に新設する。

▼質疑 防災備蓄品で、女性のための備品の拡充はあるか。

▼答 防災倉庫にパースイションや生理用品を新たに備蓄していく。

▼質疑 わくわく定住奨励補助金の導入目的とその補助対象は。

▼答 本事業の目的は、若年層の家族の定住促進である。

市内に親が住んでおり、近くに子ども世帯が転入し、子育てや介護など相互扶養することを条件としている。

▼質疑 公債費が前年度に比べ大幅に増加しているが、その理由は。

▼答 平成24年度まで

は、地方債の返済据え置き期間を3年間とし、その間、元金を返済していなかったが、大規模な事業の終了にともない、平成25年度は据え置き期間をなくすよう見直したためである。

民生消防  
常任委員会

## 平成25年度一般会計予算(所管分)

▼質疑 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種助成は、何人を想定しているのか。

▼答 対象となる70歳以上の高齢者は約2万3千人おり、接種率を30%と見込んで6900人分を計上している。

▼質疑 生活保護の受給者数の傾向は。

▼答 平成23年度は、460世帯代で推移していたが、24年度に入り、4月が463世帯、25年2月が482世帯と少しずつ伸びている。

▼質疑 消防団員の被服などの貸与品の状況は。



消防団の活動

▼答 活動服を一新し、ヘルメットも新調する予定である。

## 新型インフルエanza等対策本部条例

▼質疑 新型インフルエanzaとは何をさすのか。

▼答 新型は、抗病原性鳥インフルエanzaのウイルスで、人から人へ爆発的感染力があるものを想定している。

## 国民健康保険条例の一部改正

▼質疑 条例改正により世帯別平等割の軽減措置を延長するが、影響を受ける世帯数は。

▼答 5割軽減の世帯が260世帯、2割軽減が468世帯、全部で728世帯である。

経済教育  
常任委員会

平成25年度一般会計予算  
(所管分)

▼質疑 水田の苗を食べるジャンボタニシの駆除の状況は。

▽答 7月から11月にかけて農業用水路を回り、平成23年度は成長した貝を2・8トン、平成24年度は2・4トン処理している。

今後、数年間、継続していく。

▼質疑 企業立地助成金の内容は。

▽答 テクノプラザ2期、3期に進出した企業に、固定資産税相当額を助成するものである。

2期は全額を、3期は2分の1をそれぞれ3年間助成しており、平成25年度の該当企業は5社である。

▼質疑 就学援助の対象となっている児童、生徒の推移は。

▽答 平成20年度は81

5名、21年度は827名、22年度は863名、23年度は859名、24年度は874名である。

▼質疑 商店街の電灯をつけていない状態では、危険なこともあるが、何か対策をしているのか。

▽答 今までは、電灯の電気料金の2割を助成していたが、商店街の負担が大きいくことから、平成24年度から助成を3分の1に引き上げており、できるだけ電灯を消すことがないように努めている。

▼質疑 住宅リフォームの補助は、いくら以上の工事を対象にするのか。



テクノプラザ（東エリア）

▽答 20万円以上の工事を対象に、最大10万円の補助金を支給する。

▼質疑 小中学校の冷暖房整備事業では、どのような空調設備を考えているのか。

▽答 4教室の室内機に1つの室外機といったマルチシステムなど、効率的な方法を考えている。

建設水道  
常任委員会

平成25年度一般会計予算  
(所管分)

▼質疑 大気環境測定は、どのような物質を観測しているのか。

▽答 県が市民会館の敷地内で、大気測定局を設置している。

従来行っている二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質の測定に加え、平成24年4月から微小粒子状物質(PM2.5)の観測もしている。

▼質疑 道路の修繕や改良の要望には、どう対応

するのか。

▽答 自治会をはじめとする要望が増えており、平成25年度は、工事請負費を前年度に比べ5千万円増やしている。

たくさんの要望に対し、一つ一つ現場を確認しながら対応する。

▼質疑 鵜沼南町周辺生活道路整備事業の内容は。

▽答 犬山東町線バイパスの事業は、平成24年度から着手しており、平成28年度の完成をめどに整備している。

鵜沼南町地区は、狭い道路が多いので、緊急車両が入りやすくなるように整備していく。

▼質疑 住民要望が多い、いちよう通りなどの街路樹の剪定を具体的にどうするのか。

▽答 木の種類によって最適な方法で剪定していきたい。

例えば、かえで通りは、春になるとアブラムシがつくため、毎年透かし剪定をしていく。

いちよう通りは、今ま

でどおり定期的に剪定していく。

▼質疑 木造住宅の耐震化に補助しているが、その状況は。

▽答 平成24年度は、木造住宅の耐震診断を180件行っており、それに伴う耐震補強工事は、27件あった。

なお、非木造住宅の耐震診断は、3件であった。

▼質疑 日野岩地大野線の状況は。

▽答 平成24年度に、地元で説明会を実施しており、今後は、用地の買収について交渉を行っている予定である。



日野岩地大野線（那加山後町）



# 議長に神谷卓男氏・副議長に梅田利昭氏 監査委員に岡部秀夫氏

2月24日に行われた市議会議員一般選挙において、新しく24人の議員が誕生し、議会活動がスタートしました。

3月定例会初日には、正副議長の選挙と監査委員の選任、各常任委員・議会運営委員の選任、正副委員長互選を行いました。

**常任委員会**  
本市議会では4つの常任委員会を設置しており、行政組織に基づき分担して、専門的に審査します。  
**議会運営委員会**  
議会の運営や議会の会期、議長の諮問に関することなどを審査します。  
◎藤井國雄、○池戸一成、横山富士雄、波多野こうめ、川嶋一生、杉山元則、三和由紀、古田澄信  
(◎委員長、○副委員長)



監査委員  
岡部秀夫



副議長  
梅田利昭



議長  
神谷卓男

## 民生消防常任委員会



五十川玲子



○水野盛俊



◎川嶋一生



藤井國雄



岡部秀夫



坂澤博光

## 総務常任委員会



波多野こうめ



○池戸一成



◎横山富士雄



三丸文也



神谷卓男



瀬川利生

## 建設水道常任委員会



吉岡健



○津田忠孝



◎足立孝夫



梅田利昭



三和由紀



仙石浅善

## 経済教育常任委員会



黒田昌弘



○大竹大輔



◎杉山元則



古田澄信



永治明子



岩田紀正

## 審 議 結 果 (3月定例会)

|                                                                                 |      |      |
|---------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| ○議会委員会条例の一部を改正する条例                                                              | 原案可決 | 全会一致 |
| ○監査委員の選任(岡部秀夫氏)                                                                 | 原案同意 | 全会一致 |
| ○平成24年度一般会計補正予算(第7号)                                                            | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)                                                    | 原案可決 | 全会一致 |
| ○平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)                                                       | 原案可決 | 全会一致 |
| ○副市長の選任(磯谷均氏)                                                                   | 原案同意 | 賛成多数 |
| ○監査委員の選任(磯野孝博氏)                                                                 | 原案同意 | 全会一致 |
| ○公平委員会委員の選任(森川幸江氏)                                                              | 原案同意 | 全会一致 |
| ○人権擁護委員候補者の推薦(山田秀夫氏)                                                            | 原案同意 | 賛成多数 |
| ○平成25年度一般会計予算                                                                   | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○平成25年度国民健康保険事業特別会計予算                                                           | 原案可決 | 全会一致 |
| ○平成25年度介護保険事業特別会計予算                                                             | 原案可決 | 全会一致 |
| ○平成25年度後期高齢者医療事業特別会計予算                                                          | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○平成25年度下水道事業特別会計予算                                                              | 原案可決 | 全会一致 |
| ○平成25年度水道事業会計予算                                                                 | 原案可決 | 全会一致 |
| ○職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例                                                         | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○土地開発基金条例の一部を改正する条例                                                             | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○市税条例の一部を改正する条例                                                                 | 原案可決 | 全会一致 |
| ○非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例               | 原案可決 | 全会一致 |
| ○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例                                                          | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○総合福祉会館条例等の一部を改正する条例                                                            | 原案可決 | 全会一致 |
| ○指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例                                                 | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例                                           | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○新型インフルエンザ等対策本部条例                                                               | 原案可決 | 全会一致 |
| ○国民健康保険条例の一部を改正する条例                                                             | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例                                                        | 原案可決 | 全会一致 |
| ○消防団条例の一部を改正する条例                                                                | 原案可決 | 全会一致 |
| ○消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例                                                        | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例                                                           | 原案可決 | 全会一致 |
| ○自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例                                                           | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道の構造の技術的基準を定める条例                                                              | 原案可決 | 全会一致 |
| ○移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例                                                 | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市民広場設置条例の一部を改正する条例                                                             | 原案可決 | 全会一致 |
| ○都市下水路条例                                                                        | 原案可決 | 全会一致 |
| ○準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例                                                       | 原案可決 | 全会一致 |
| ○移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例                                             | 原案可決 | 全会一致 |
| ○都市公園条例の一部を改正する条例                                                               | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市営住宅条例の一部を改正する条例                                                               | 原案可決 | 全会一致 |
| ○下水道条例の一部を改正する条例                                                                | 原案可決 | 全会一致 |
| ○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例                                                     | 原案可決 | 賛成多数 |
| ○布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例                                        | 原案可決 | 全会一致 |
| ○工事請負契約の締結(川島小学校校舎耐震補強等改修工事(建築))                                                | 原案同意 | 全会一致 |
| ○平成24年度水道事業会計資本剰余金の処分                                                           | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道路線の認定(市道鵜1372号線ほか1路線)                                                        | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道路線の認定(市道鵜1374号線)                                                             | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道路線の廃止及び認定(市道鵜747号線ほか2路線)                                                     | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道路線の廃止及び認定(市道鵜36号線)                                                           | 原案可決 | 全会一致 |
| ○市道路線の廃止及び認定(市道鵜269号線)                                                          | 原案可決 | 全会一致 |
| ○常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の継続調査                                                        | 可決   | 全会一致 |

# 市政を問う 会派の代表質問

3月18日に各会派の代表質問を行いました。

政和クラブ・古田澄信、市議会公明党・横山富士雄

※代表質問は、各会派の政策・主張に基づき市政に関して質問をするもので、各会派で作成された原稿を掲載しています。

## 平成25年度の予算編成

50周年を祝い、未来へ飛躍

和政  
クラブ

▼問 50周年という節目の年は、どのような都市づくりを目指しているか。

▼答 本市は誕生から半世紀という節目を契機に、「ささえ合いを大切にする都市」の実現を目指し、人と人、家族、地域のつながりを促す施策や郷土愛を育み、都市の魅力を発信し、新たな人々を呼び込む施策を行う。また、しなやかで強い財政力など、夢とそれに向かうたくましさな推進力に人々がささえ合い、活力とロマンに満ちた都市づくりを目指す。

市民と共に50周年を祝い、未来に向けてさらに飛躍するきっかけにする。

▼問 都市ブランドを推進するための取り組みは。

▼答 各務原フィルムコミッション事業、市内全小中学校冷暖房設備整備事業、子育て応援団「ばあばの家・じいじの家」

事業、こども医療費助成事業、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業、コミュニティ・カルテ・システム基礎調査事業など36事業を計画している。

これらの事業の積極展開と効果的な情報発信により、本市の魅力への認知度と関心度を高めている。

▼問 東西新2眼レフ都市基盤整備事業の推進状況は。

▼答 日野岩地大野線は、国道21号線バイパスからいちよう通りまでを県と施工範囲を取り決め、事業を実施している。

いちよう通りから那加山後町までの境川南側の道路は、拡幅のための測量を平成25年度に実施する。

いちよう通りから北側は、岐阜市との協議を重ね、平成24年11月には、合同で早期事業化に向けて県に要望をした。

## 法人市民税の法人税割

標準税率に戻す考えは

会党  
議明  
市公

▼問 法人市民税の法人税割の標準税率は12・3%だが、なぜ、本市は制限税率の14・7%を採用しているのか。

▼答 昭和53年に都市基盤の整備をはじめさまざまな施策を推進するため、標準税率から制限税率に引き上げている。

現在の税率は昭和56年から施行している。

▼問 税率を標準税率にした場合、平成25年度予算でいくらの減収になるのか。

▼答 標準税率にすると約1億5989万円の減収となる。

▼問 標準税率に引き下げる考えは。

▼答 税率引き下げは、優良企業を呼び込む一つの方法だが、多様な人材育成や産学官連携の促進など、企業にとって魅力ある産業振興策を実施していく。

▼問 政府は胃がんとピロリ菌の関係を認めているが、特定健診などの血液検査の項目にピロリ菌検査を加え、がん予防や早期発見に対応しては。

▼答 胃がんや胃潰瘍などを引き起こすピロリ菌は、日本人の約50%以上に感染が見られ、感染した人の約5%が病気を発症するといわれている。

ピロリ菌検査の導入は、現在、国において、胃がん検診の検査手順のあり方やピロリ菌検査の有効性などが議論されていることから、その動向を見ながら検討する。

▼問 通学路の安全確保が必要な場所は132カ所あるが、改善方法は。

▼答 区画線や安全柵、注意看板、カーブミラーの設置などで58カ所ほどを順次整備していく。他機関と調整が必要なものは引き続き協議する。



## 市政を問う 一般質問

3月18日、19日の2日間、一般質問を行いました。  
質問をした議員は次のとおりです（発言順）

川嶋一生、吉岡健、坂澤博光、黒田昌弘、杉山元則、池戸一成、五十川玲子、波多野こうめ、三和由紀、三丸文也、永治明子

### 日本一の市役所への工夫は

#### 公務員と民間企業の長所を合体して

▼問 長い政治経験を生かし、市長はどのような工夫をしてきたか。

▼答 行政職員は、公務員として素晴らしい能力を持っている。

特に企画力と信用に基づく情報収集能力が高い。

民間企業は、コスト意識やスピード感が高い。

その長所を合体して、日本一の市役所にするための工夫をしてきた。

▼問 夢ある都市推進事業とは。

▼答 市全体が一体となつて50周年を盛り上げるため、市民や地域・民間団体などが自ら企画運営する取り組みやイベントを幅広く募集し、その実

施費用に対して支援を行う。

▼問 この事業を次年度以降も継続する考えは。

▼答 本事業は、市制施行50周年を市全体で盛り上げることが目的であるため、平成25年度の実施としている。

今後は、今回の事業の成果を検証し、今後の行政による支援のあり方を検討していく。

▼問 平成25年度の市政運営の目玉と特徴は。

▼答 健全財政の堅持と、積極的な事業展開を行う「二兎を追う都市」を引き続き推進するとともに、新たに「ささえ合う都市」を施策の柱に設定した。

### 過去最低の 投票率

▼問 2月の市議会議員選挙の投票率は、前回と比べて4ポイント減の50・24%であったが、この結果をどう考えているか。

▼答 昨年末から選挙が続いたことや投票日が異常に寒かったこと、若い世代の政治離れがあるのではないかと考えている。



生徒会選挙の様子（那加中学校）

▼問 若い世代の投票率アップのための工夫を考えているか。

▼答 将来の有権者である子どもたちに、学校の授業で選挙についての出前講座を開くほか、児童会や生徒会の役員選挙などで、実際に使用している投票箱や記載台を使用してもらうなど、選挙への関心を高める取り組みをしている。

### 第3日曜日は 「家庭の日」

▼問 「家庭の日」の周知方法は。

▼答 強化月間である毎年1月には広報紙による呼びかけや、家庭の日啓発絵画募集、各小学校区の青少年育成市民会議による啓発活動などを行い、市民に周知している。

▼問 公共施設を家庭の日である第3日曜日に無料開放する意図は。

▼答 モノの豊かさを背景に価値観や娯楽の多様



ファミリーカード

化が進んだ現代において、改めて家族と一緒に過ごす余暇のあり方について見つめ直してもらうものである。

▼問 家庭の日を実施するために、具体的にどう働きかけるか。

▼答 無料入場券であるファミリーカードを各小中学校や幼稚園、保育所などを通じて配布する。

さらに、10年後の自分や家族などに宛てた手紙を届ける「各務原力プセルレター事業」や、「夢ある50年後の都市絵画コンクール事業」で、家庭や家族に関する作品などが、多く出展されることを期待している。

## 小中学校

## 次は冷暖房設備を全教室へ

耐震化は平成26年度に完了のめど

▼問 すべての小中学校の全教室に冷暖房設備を設置しようとした経緯は。

▼答 最優先に取り組んできた全小中学校の耐震化は、平成26年度末には完了のめどが立ったため、学習環境のさらなる充実を図っていく。

また、異常気象に伴い、PTA連合会より平成21年度から毎年、エアコン設置の要望があったことによるものである。

▼問 休み時間や体育の授業で、暑い校庭に出る際の熱中症対策は。

▼答 空調設備の適切な温度設定や屋外での帽子の着用、こまめな水分補給などに配慮していく。

学校経営  
振興事業

▼問 学校経営予算を活用



絵本の読み聞かせをする児童（那加第三小学校）

用した実例は。

▼答 この予算を活用して、蘇原第一小学校では、健康な生活習慣を身につけるために、「元氣アップ大作戦」を実施している。

この取り組みは、平成24年度文部科学大臣賞を受賞した。

那加第三小学校では、図書館の隣に絵本広場を設け、高学年の児童が絵本の読み聞かせを実施している。

▼問 児童生徒のための予算を活用した実例は。

▼答 尾崎小学校では、保育所や老人施設、地域の人たちとの交流を深めるために、花やメッセージカードを配布する「感謝の心を伝える会」を実施している。

桜丘中学校では、発展途上国の子どもたちにワクチンを送るために、ペットボトルキャップを回収するボランティア活動を実施している。

▼問 児童生徒のための予算で、どんな効果が出ているか。

▼答 仲間と助け合い、喜びを共有することや、地域との交流や人を思いやる心が育っている。

## いじめ防止

▼問 大津市のいじめによる自殺報道を受け、いじめ防止に関して教師や職員、子どもたちに対してどんな対策をしたか。

▼答 無記名アンケートの実施、悩み相談ポストの活用、いじめ発見や対応スキル強化のための教員研修を行うことなどにより、未然防止と早期発見に努めている。

▼問 今後の対応は。

▼答 平成25年度には、小学校3年生以上と中学生を対象に、いじめ発見に効果的な「Q・Uテスト」と呼ばれる心理テストを実施する。

その結果を分析し、支援が必要な児童生徒や学級全体への指導に生かしていく。

学校給食の  
アレルギー対応

▼問 学校給食のアレルギー原因食材のチェック体制や緊急時の対応は。

▼答 毎月、アレルギーの原因となる食品が記載されている献立表と食材の配合割合が記載された一覧表を保護者に配布している。



学校給食の様子（那加第二小学校）

また、主治医が証明する指導表に基づき、保護者と対応を協議し、その結果を全教職員に周知している。

さらに、発症に備え、アレルギー体質の児童生徒の情報を消防本部に提供している。

▼問 婚活イベントをどう考えているか。

▼答 婚活イベントは、地域が果たしてきた縁結び機能を補っており、多様で新しい出会いの形を求める現代の若者のニーズにマッチした取り組みである。

婚活への支援を通して、地域の活性化などに繋がっていく。



## 子育て応援団

## ばあばの家、じいじの家

## 担い手を広く市民から公募

▼問 子育て応援団「ばあばの家、じいじの家」事業の狙いと進め方は。

▼答 地域で子育て家庭の話し相手となり、近所の情報や子育て支援情報を伝えてもらうことで、よりきめ細かな育児ネットワークの構築を目指す事業である。

子育て応援団の担い手を、広く市民から公募し、子ども館で登録者説明会・交流会を開催し、協力をお願いしていく。

▼問 集会場や空き家を利用した、地域の人のため場などの設置に助成をする考えは。

▼答 ボランティアハウスなどのさまざまな交流



拠点においても、地域のつながりが強まることにより、高齢者や子育て家庭が一緒に交流する環境がつけられると考える。新たな拠点が生まれれば、支援していく。

## 不育症治療

▼問 妊娠しても流産や死産などを繰り返す不育症の治療に助成をする考えは。

▼答 不育症のリスク因子は、子宮形態異常などの身体的要因やストレスなどの精神的な不安要因に起因するといわれているが、全体の65%は要因が分かっておらず、治療法についてはまだ確立していない。

今後、国の動向を踏まえ、実態の把握と治療の

有効性、安全性などを考慮して研究していく。

▼問 がん検診無料クーポン券発行後の効果は。

▼答 平成21年度から、子宮頸がん検診と乳がん検診の無料クーポン券と検診手帳を配布している。

平成23年度の子宮頸がん検診の受診者は、クーポン券配布前の平成20年度と比べると1167人増加、乳がん検診の受診者は1191人増加しており、受診率の向上につながっている。

▼問 受診率を上げていくための取り組みは。

▼答 引き続き広報紙やホームページへの掲載、自治会への回覧など、まだ受診していない方への勧奨を積極的に行うことにより、啓発活動の強化を図っていく。

## パークシティ構想

▼問 本市が目指すパークシティ構想を市民に



山崎北2公園での芝張り作業

理解してもらうために、どのような取り組みをしているのか。

▼答 構想の策定にあたっては、多くの市民参加を得て、「魅力と課題の発掘ウォークラリー」を開催し、市民の意見を聞いている。

また、公園整備では、設計段階で利用者の声を聞き、工事中の芝張り作業、完成後の維持管理などを市民と協働で行っており、これらの機会を通して、市民にパークシティ構想の説明をしている。

▼問 公園整備にかかる費用や国の補助率は。

▼答 最近整備した公園

では、平成20年度にオープンした5.1ヘクタールの河跡湖公園があるが、国土交通省の補助金や合併特例債を活用している。

国の補助率は用地費が3分の1、工事費が2分の1であるが、全体事業費5億7700万円に対し、市の実質的な負担額は、1億4000万円程度である。

## 歩道の現状

▼問 現在の歩道の設置状況は。

▼答 平成24年4月1日現在で、市道の総延長は1138.9kmである。

そのうち、歩道が設置されているところは、全体の11.9%であり、県内他市町村と比較して高水準である。

歩道が設置されている市道のうち、自転車も通行することが可能なものは87.2kmある。



# こんな街がいいな！

～わたしたちの夢、願い～

## 食を通して命をつなぐまち



鵜沼羽場町  
安東基博さん

市内で漢方薬局を営む傍ら市の生涯学習や出前講座で食養生のお話をさせていただいております。

健康の源は毎日の食事にあります。

お米以外の穀物は、見た目を優先するあまり農薬を多く使った輸入物野菜や、収穫量優先に改良されたF1（種が採れない）品種が出回り、作物本来の栄養バランスや味が損なわれています。

市内には豊かな田畑がまだ残っています。

農薬や化学肥料に頼らない安心な作物を大人と子どもが一緒になって作ることで地域の絆を深め、素晴らしい街にしたいです。

## お年寄りが元気なまち



蘇原旭町  
足立まり子さん

ボランティアハウス「やすらぎの旭」が始まって早くも十数年が過ぎました。

週に1回、蘇原旭町3丁目地内の高齢者をご招待し、お昼ごはんを提供しています。

私は開設時から参加させていただいていますが、皆さんとてもお元気です。人と人との触れ合いが元気の秘訣だと思います。

ボランティアをしている私たちも町内の垣根を越えて、知り合いが増えていきます。

生まれ育ったこの各務原で、みんなが仲良く元気に過ごせる街づくりをお手伝いしてまいります。

## 桜に思いを寄せて



那加前洞新町  
羽場一廣さん

私は桜が大好きで、11年前に新境川の「百十郎桜保存ボランティアの会」に入会しました。

ソメイヨシノの寿命は70年くらいであるといわれていますが、各務原市の新境川の堤防には樹齢90年くらいのソメイヨシノの木が数十本残っています。

これから手をかけ、再生をするか、若木を植えるかを考える時期にきています。

百十郎桜がいつまでも各務原市の誇れる桜並木であることを祈っています。

また、私自身も元気にボランティアを続けていきたいです。

## 市議会を見にきませんか？

市議会は誰でも傍聴できます。詳しくは議会事務局まで

平成25年6月定例会の日程（予定）

|            |              |
|------------|--------------|
| 6月 3日      | 本会議 開会       |
| 6月 17日～18日 | 本会議（質疑・一般質問） |
| 6月 20日～21日 | 常任委員会        |
| 6月 26日     | 本会議 閉会       |

※日程は議事の都合により変更になる場合があります。

※ウェブサイトで本会議の生中継や過去の録画映像をご覧いただくことができます。

## 議会素描

▼「各務原大橋」は、新たな人と人を結ぶ大理想郷への夢の架け橋。

▼改選後初議会に、新議員9人を含む24人の議員が議場に参集。

緊張した空気の中、50周年を迎えた新しい議会が開催されました。

▼美しい故郷を愛し「夢

とそれに向かうたくましさ」「ささえ合う心」で、

着実に政策を進め「夢ある都市」を実現したい。

▼新たな50年に向けて市民の「心のブランド化」も推進したい。

▼夢ある都市推進事業のキーワードは、一人一人のやる気。

身近なことで、何かやってみませんか。

## 市議会だより編集委員会

委員長 池戸一成  
副委員長 瀬川利生  
委員 五十川玲子  
津田忠孝  
水野盛俊  
坂澤博光



環境保護のため植物インキを使用しています。